THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI

広島廿日市ロータリークラブ 会報

2019年 11・12月号 No.423

◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「ロータリーに熱き思いを・仲間と共に」

例会日／毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場／広島サンプラザ　TEL (082) 278-5000
会　長／上杉　昌幸　　幹事／松本　　猛

事務局
〒738-0015 広島県廿日市市本町５番１号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL（0829）31-5490　FAX（0829）31-5491
E-mail ／ office20@h-hrc.com
URL ／ http://www.h-hrc.com/

第1030回　広島サンプラザ　2019年11月11日

会長時間

会長　**上杉　昌幸**　様

表彰

誕生祝

卓　話

「外国人人材活用について」

学校法人ひらた学園　IWAD環境福祉リハビリ専門学校
副校長・国際部長　**藤原　毅彦**

第1031回　広島サンプラザ　2019年11月18日

会長時間

年次総合案内

会長　**上杉　昌幸**

理事会報告

幹事　**松本　　猛**

卓　話

「人材サービス業の仕組みと役割」

株式会社メイツ中国
常務取締役第一営業本部長　**岡本　洋佳**　様

採用、育成等、経営層の皆様には人材に関するお悩みの多い昨今、あらためて「人材サービス業」について、少しお話をさせていただきます。

人材サービスとは、個人と仕事、個人と会社をつなぐサービスで、平成の30年間で世の中に広まった新しいビジネスです。

代表的なサービスは、１．人材紹介　２．人材派遣　３．アウトソーシング　４．求人広告業　です。

市場規模は、年間売上　９兆9,700億円　一年間に540万人超の就業に寄与しております。

各々のサービスの特徴について、お話を進めます。

先ず「人材紹介」は、 募集ポジションにマッチした人材を厳選し、ご紹介するサービスです。

人材サービス会社は、企業様から求人のお申し込みをいただいた後、候補者を選出、ご紹介します。その後、企業様で選考、面接等、実施していただき、候補者の内定が決定、正式に入社されましたら、人材サービス会社は企業様から人材紹介料をいただきます。

次に「人材派遣」は、必要な時に、必要な期間、必要な業務を行うスタッフを派遣するサービスです。契約期間中は、人材サービス会社の派遣スタッフとして勤務し、人材サービス会社はスタッフに給与を支払い、企業様から勤務時間に応じた派遣料金をいただきます。

企業様は、採用と雇用のコストがかからず、流動的に人材を活用することができます。

「紹介予定派遣」は、「人材紹介」と「人材派遣」の組み合わせで、派遣期間終了後、企業とスタッフ双方が合意すれば、直接雇用となるサービスです。

また、「アウトソーシング」として、データ入力やコールセンター業務、受付案内業務など、社内、社員から切り離せる特定の業務を一括して受託する方法もございます。

人材サービスの利用をお考えの場合は、業務の内容、職場環境、導入検討の背景、意図等、人材サービス会社の担当者にお伝えになり、適切なサービスの導入を、ご検討ください。

次に、人材サービス会社の役割についてお話いたします。

今までは、リクルーティングやマッチング等、求職者と企業を「つなぐ」役割でした。

働く人々の仕事に対する価値観が多様化し、キャリアのマルチサイクル化が進む中、これからの我々の役割は、働く人一人一人のキャリア形成のサポーターであることです。

また、生産年齢人口が減少し、AIの活用が進む労働市場の中、企業様からは人材活用を考えるパートナーとしての役割が求められていくことと思います。

中国地域の、広島、福山、岡山、松江、山口に拠点を置く当社は、創業30年間で培った信頼と実績を軸に、お客様のご要望に柔軟に対応し、これからも地域に密着した人材サービスを展開し、良きサポーター、パートナーとなるよう努めてまいります。

引き続き、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

ご清聴ありがとうございました。

第1032回 ANAクラウンプラザホテル　2019年11月22日

広島西南 RC との合同夜間例会

会長時間

広島西南RC会長　**山下　幸彦**　様

大藤ガバナー補佐挨拶

第1033回 広島サンプラザ　2019年12月２日

会長時間

会長　**上杉　昌幸**

入会式　金川竜也会員

卓　話

「働き方改革のシナジー効果とは」

青木　秀行　会員

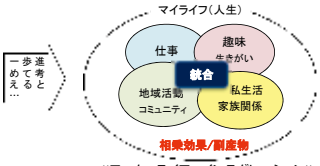
(1)「働き方改革」の“あるべき姿”とは
―「働きがい改革」へ意識チェンジ―

①新時代「創造社会」を生き残るために
「飯・風呂・寝る」⇒「人・本・旅」

②制度有りきから脱し労使でWin-Winを創造する
様々な制度（年次有給休暇、育児・介護休業等）に意味と付加価値を付ける

③多様で柔軟な働き方の実現
―WLBからWLIへの発想転換―

≪ワーク・ライフ・バランス≫



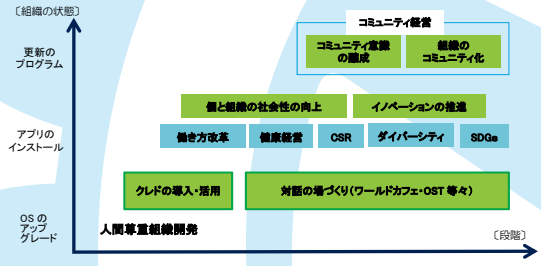
≪ワーク・ライフ・インテグレーション≫

	WLB（Work Life Balance）	WLI（Work Life Integration）
考え方	「仕事」と「私生活」を対局のものとみなし、両者の量的なバランスを保つことの重要性を示した考え方。	仕事も人生の一部とみなし、「職業人」「夫婦・家族」「地域コミュニティ」「趣味」などの人生の各活動を相乗的に良くなるよう統合していこうという考え方。
導入目的	仕事や会社に偏り過ぎた生活パターンを修正したり、出産・育児や介護など必要に応じて一時的に仕事と家庭の配分を変えたりするなど、働き方の“調整”を主体的に行い、安定した生活を確保する。	家庭と仕事を統合した考えは、相手の生き方を理解し、相互に信頼・扶助・成長する風土を醸成し、多能化・効率化等による生産性向上やイノベーションに繋がる。社員は、仕事か家庭かの優先順位のストレスから解放され、自分らしい豊かな人生を送ることができる。
特性	残業することや有給休暇を取れないことが私生活の時間を減らすものとして問題視される。よって、仕事時間や仕事負荷を減らす施策のことを指すことが多い。	仕事と私生活は相反するものではなく自分の人生観を軸に統合して考え、双方の充実を求める生き方。よって、ただ単に労働時間を減らせばよいというわけではなく、生産性や成長拡大を実現するとともに生活の質を高め、充実感と幸福感を得るなどの相乗効果を目指す働き方をいいます。
適合性	専門性が低く自立志向の弱いタイプ 代替性の高い単純労働 保守的で変化を嫌う性格の人には心地よい。	専門性が高く自立志向・好奇心の高いタイプ 専門業務
評価指標	労働時間の短縮／有給休暇取得率／育児休業の取得率など	時間裁量の程度／結果・成果／様々な活動のシナジー（相乗効果）
実践例	時短勤務、ノー残業デー、フレックスタイム、有給休暇取得促進、男性の育児休業促進、介護休業の活用、両立支援策の拡大など	育児施設の併設、遊興設備への投資、副業解禁、裁量労働制、成果給導入、社内独立制度、リモートワーク、フリーランスなど

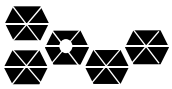
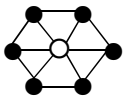
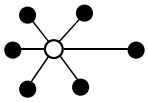
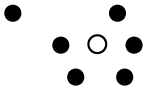
(2)「働きがい改革」の“あるべき組織”とは
―『自律分散型組織』の実現―

組織の段階をアップデートして、新しい試みが自ずと動き出す（アプリの稼働）ように状態を整えていく。人間尊重の考えを軸とした組織づくりを推し進めていくと、コミュニティ経営に至る。

①関係性の質を高める
②社員体験価値（Employee Experience）を意識する
③対話と内省の習慣をつくる
④経験学習モデルをまわす
⑤心理的安全性を強化する

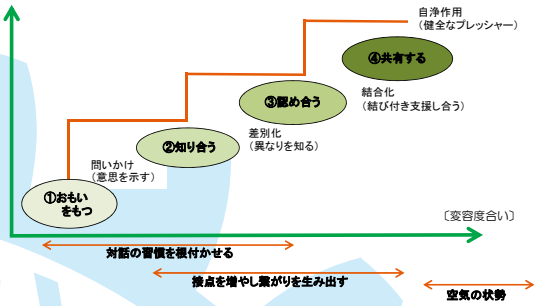


《組織変革を進める前に理解すべき“組織と個の発展段階”》

レベル	関係性の質	コミュニケーションのスタンス	構造
5	チーム	「人生は素晴らしい」	
4	パートナーシップ	「わたしたちはすばらしい」	
3	個人	「わたしの仕事はすばらしい」	
2	分離	「わたしの仕事は大変だ」	
1	孤立	「仕事って大変だ・つまらない」	

≪「人間性尊重経営を軸とした自律分散型組織」への４つのステップ≫

●いきなり自律分散を目指すのではなく、会社としての思い（クレド）や個々の内的動機・事情を「伝え合う」「知り合う」過程を設けるところから始める。



(3) 経済（生活）の思想と哲学、六つの原理（社会的企業）

■ある企業の経済社（生活者）としての基本理念

『経済を伴わない道徳は戯言（寝言）である。しかし、道徳を伴わない経済（生活）は罪悪である。』

至誠	至誠とは、まごころである。「わが道は至誠と実行のみ」真心を尽くすには、思想や生き方のベースとなっていた精神である。何事も真剣にやる。
勤労	人は自分に備わっている徳を最大限に発揮して働くことにより、生きる糧を得て生きていくことができる。また、そうして働くことにより生きる知恵を磨き、自己を向上させることができる。
分度	自分の置かれた状況や立場をわきまえ、それにふさわしい生活を送ること。すなわち、余分な贅沢はせず、自分の身の丈に合った生活をするということである。各人が自分の収入や財力をわきまえ、相応の計画を立て、その範囲内で支出を図っていけば、生活に苦しむことはない。＝計画経済
推譲	分度を守って生活すれば余剰や余分が生じる。その余剰は家族や子供のために蓄えたり、他人や社会のために使用することによって、人間らしい幸福な社会ができるはずである。つまり、分度を守った生活とは単に自己の蓄財のためのものではなく、推譲によって広く社会に還元するという目的をもっている。＝ボランティア精神
積小為大	小さな努力の積み重ねが、やがて大きな収穫や発展に結びつく。小事をおろそかにする者に大事が成せるわけはない。
一円融合	すべての者は互いに働き合い、一体となって結果をもたらす。例えば、一粒の種は、水・温度・土・日光・養分など、様々な物の徳が一つに融けあって初めて花を咲かせ実を結ぶ。 人間社会も同様で、至誠の心を持って勤勉に働き、分度を守った生活の結果生じる余剰を社会に還元していれば、たとえ一人の力は小さくとも、大きな積み重ねとなって、より良い社会を形成することができる。

第1034回 広島サンプラザ 2019年12月９日

会長時間

理事会報告

副会長 **松本 猛**

卓 話

「年次総会」

「IM について」

第1035回 広島サンプラザ 2019年12月16日

会長時間

会長 **上杉 昌幸**

卓 話

「子どもの見方で子どもの味方になる」

ひばり塾 塾長 **楠元 梢** 様

「勉強するには体づくりから」

初めまして。西区横川で学習塾とロボット教室を開講しております塾長の楠元と申します。毎年40名程度のお子さんと関わりながら過ごしております。

さて、私は24歳まで「勉強は誰でもできる。できないのはやる気がないからだ」と思って生きてきました。しかし2008年、ある少女との出会いをきっかけに、自分の考え方が間違っているのでは

ないかと思うようになりました。それから約300人の子ども達と出会い、「やる気はある。反復練習もしている。なのにうまくできない子ども達」が少なくないことを知りました。

2013年、ひばり塾３代目塾長就任と同時に第１子出産、その後長男が１歳10ヶ月の頃から原始反射統合について学び始めました。息子の成長と原始反射統合の学びがリンクし、子どもの発達段階について理解出来ました。子ども達はピラミッドのように下から順番に段階的に発達していきます。小学校入学とともに始まる学校での勉強やコミュニケーションというのは、ピラミッドの上の階層に当たるため、入学後に出てくる様々な困難さをクリアするためには、下の階層、つまり子どもたちの体を育ててあげることが必要だということが分かりました。

昭和生まれの私たちは、毎日の暮らしや遊びの中で自然と勉強するための体がつくられてきました。一方、今の子ども達は公園で遊ばせようにも昔のように簡単には子ども達だけで外に出せなくなっています。そのためyouTubeなどの動画を見たり、ゲームをして過ごす時間が多くなっている傾向にあると思います。そういう環境の変化からも、勉強できる体が作られる前に小学校へ入学してしまうお子さんが増えているように感じます。意識的に手の動きや正中線、背骨を育ててあげることで、勉強や人間関係に良い影響があると私は信じています。これからの時代に求められる「思考力・判断力・表現力」という３要素を育てるためにも、まずは勉強できる体を育ててあげることが一番の近道だと私は考えています。

第1036回 シェラトングランドホテル広島　2019年12月20日

クリスマス家族同伴夜間例会

活動報告

カラオケ同好会
2019年12月16日（月）
デュエット

出席者は、12名
藤岡さんご夫妻、永井さんご夫妻
河内さん、佐伯さんご夫妻
石塚さん、青木さん奥さん
山根さん、植田さん、石原さん